

**宇城市 3D 都市モデルユースケース開発業務委託
提案書評価基準**

1 概要

提案者の提案書に対して次に定め基準に従った方法により評価する。

2 評価方法

(1) 評価者

「宇城市 3D 都市モデルユースケース開発業務委託に係る公募型プロポーザル評価委員会」(以下「評価委員会」という。)を設置し、各委員が各提案についてそれぞれ評価を行う。

(2) 提案書

提案者からの提案内容を、プレゼンテーションを通じそれぞれ次の基準により評価する。

提案書の評価は、提案者から提出された提案書をもとに、プレゼンテーションを通じて評価を行うこととする。提案書の採点方法は、プロポーザル実施要項に記載のⅢ提案書について、提案書の構成それぞれに割り当てられた配点に評価採点表の重点係数を乗じて採点結果とする。

□評価基準（評価項目 1～3、7～8）

- ・参加者の絶対評価により評価を行う。

項目の評価	評価点
特に優れており、極めて満足できる	5
十分に考慮され、優れている	4
考慮されており、ほぼ満足できる	3
考慮されているが、不足がある	2
ほとんど考慮されておらず、極めて不足である	1
全く考慮されておらず、記載がない	0

□評価基準（評価項目 4）

- ・技術者の配置状況や業務実績について、次の考え方に基づいて得点化を行う。

提案者中の、配置予定技術者が過去 5 年間で担当した 3D 都市モデルに関連する業務の実績件数が最も多い提案に対し、3 点を配点とし、5 点を最大評価点とする。

人流解析データを 3D 都市モデルにおいて可視化したことにより、以後の具体的な整備等に効果的な提案がなされ、活用された事案がある場合は、3 点を上限に加点することができる。

他の提案者については、次の数式で算出した点数の小数点以下を切り捨てて得た点数を評価点とする。

【業務実績等の評価点の計算式】

$$\text{評価点} = \text{配点 3} \times \frac{\text{実績件数}}{\text{最多の実績件数}} + \text{加点}$$

評価基準（評価項目 5）

- ・提案者の業務実績について、次の考え方に基づいて得点化を行う。

提案者中の、提案者が過去 5 年間で受託した 3D 都市モデルに関連する業務の実績件数が最も多い提案に対し、5 点を評価点とする。

他の提案者については、次の数式で算出した点数の小数点以下を切り捨てて得た点数を評価点とする。

【業務実績等の評価点の計算式】

$$\text{評価点} = \text{配点 5} \times \frac{\text{実績件数}}{\text{最多の実績件数}}$$

□評価基準（評価項目 6）

- ・提案者の見積額について、次の考え方に基づいて得点化を行う。

提案者中の、見積額が最低となった提案に対し、5 点を評価点とする。

他の提案者については、次の数式で算出した点数を評価点とする。

見積額を税抜きで算定し、小数点以下切り捨てて得た点数を評価点とする。

【提案価格評価点の計算式】

$$\text{評価点} = \text{配点 5} \times \frac{\text{最低の見積額}}{\text{見積額}}$$

3 評価項目の設定

次のとおり、評価項目を設定する。

評価項目	評価事項	評価基準
1. 3D 都市モデルユースケース開発についての技術力	(1) 3D 都市モデルの作成(建築物、LOD2)	・仕様書第26条～第27条(業務内容)に記載された内容を満たしているか。 ・作成範囲、作成棟数についての具体的な記載があるか。 ・人流データの活用を考慮した高品質な3D 都市モデルとなっているか。
	(2) 人流データ等の取得	・仕様書第28条(業務内容)に記載された内容を満たしているか。 ・測量結果の分析に関する記載があるか。 ・プライバシーへの配慮に関する記載があるか。 ・分析結果について具体的な可視化への提案がされているか。
	(3) 人流データ等の分析	・仕様書第29条(業務内容)に記載された内容を満たしているか。 ・人流データについて、具体的な使用やデータ収取方法について提案されているか。 ・調達した人流データの分析結果について具体的な可視化の提案がされているか。
2. 業務実施方針	本業務の業務内容について、実施にあたっての考え方、取り組み方法など、具体的な実施方針	業務の取り組み方法などが適切で、スケジュールは実現可能か。
3. その他、独自の提案	提案者が受託した場合の本市のメリットや提案者が業務を遂行する際のアピールポイント、この事業を実施するにあたっての、提案者独自の取り組みについて	・独自性があり具体的で、現実性を担保できる内容であるか。 ・市にメリットが大きく、他者に比べて優位な内容であるか。 ・松橋駅のポテンシャルを人流データを基にとらえ、今後の駅周辺整備において適切な視点で提案できているか。
4. 実施体制	(1) 技術者の3D 都市モデルに関連する業務(構築・活用・仕様検討等)	

	実績 評価＝実績件数／最多の実績件数×5 (2) 人流解析データを3D都市モデルにおいて可視化したことにより、以後の具体的な整備等に効果的な提案がなされ、活用された事案がある場合は3点を上限に加点することができる。
5. 業務実績	(1) 提案者の3D都市モデルに関連する業務(構築・活用・仕様検討等) 実績 評価＝実績件数／最多の実績件数×5
6. 見積額	評価＝最低見積書金額／見積書金額×5 ※評価点数は、税抜きで算定し、小数点以下切り捨てとする。
7. 説得力	説明に説得力があるか、論理的か
8. 応答能力	質問に対する回答が適切か

4 受託候補者の選定

この選定評価基準に基づく評価の結果、基準点を満たす者の中から総合評価点が最も高い1者を本業務の契約を締結する候補となる事業者として選定する。

評価点は満点を100点とし、最大及び最低点を除いた各委員の評価項目の合計を評価委員数で除し、小数点第2位以下を四捨五入した点数を提案者ごとに算出する。

ただし、本プロポーザルの審査における最低基準点は60点とし、算出した評価点がこれを下回る者は受託候補者とはならない。

また、最高点の者が複数いる場合は、提案金額の安価な者を受託候補者として選定する。なお、評価点が同点で提案金額が同額である者が複数いる場合は、評価委員会委員長の最高点の者を受託候補者として選定する。

5 提案者が1者又は参加申込みがない場合の取扱い

提案者が1者のみの場合であっても評価は実施し、評価の結果において基準点を満たすときは当該参加者を受託候補者とする。また、基準点に満たない場合、又は提案者の参加が無い場合は再度検討する。

なお、基準点は60点とし、総合評価点を委員の数で除して算出した値と比較する。